

リニア駅ができるまち飯田



# ? リニアの駅って、 どーなるの?



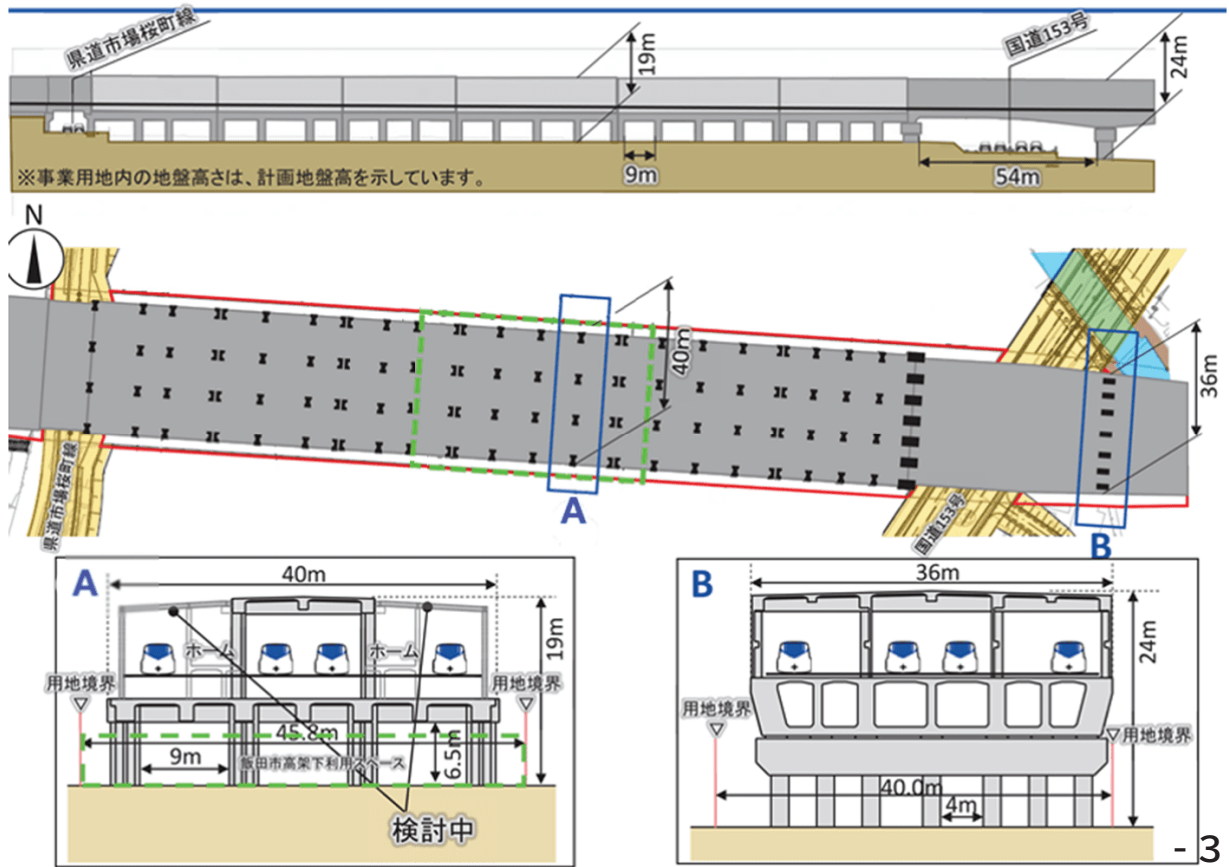
## 実施設計(土木関係)の概要 〈抜粋版〉

令和4年12月4日 成果発表資料

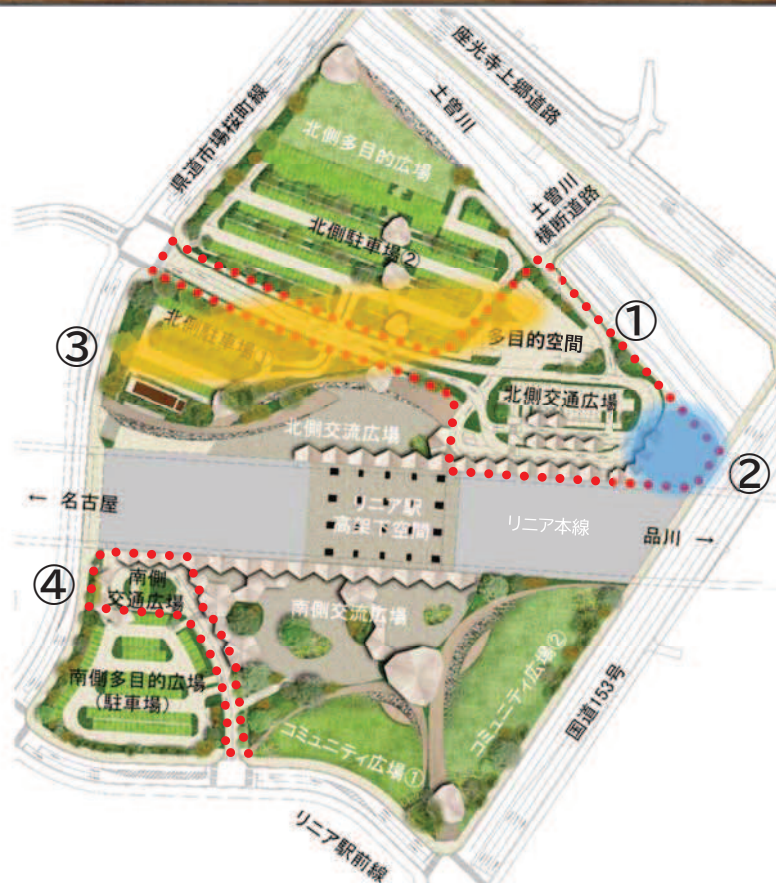
### 1 リニア駅前空間の概要 (1 位置図)



# リニア駅前空間の概要（2 リニア駅の概要）



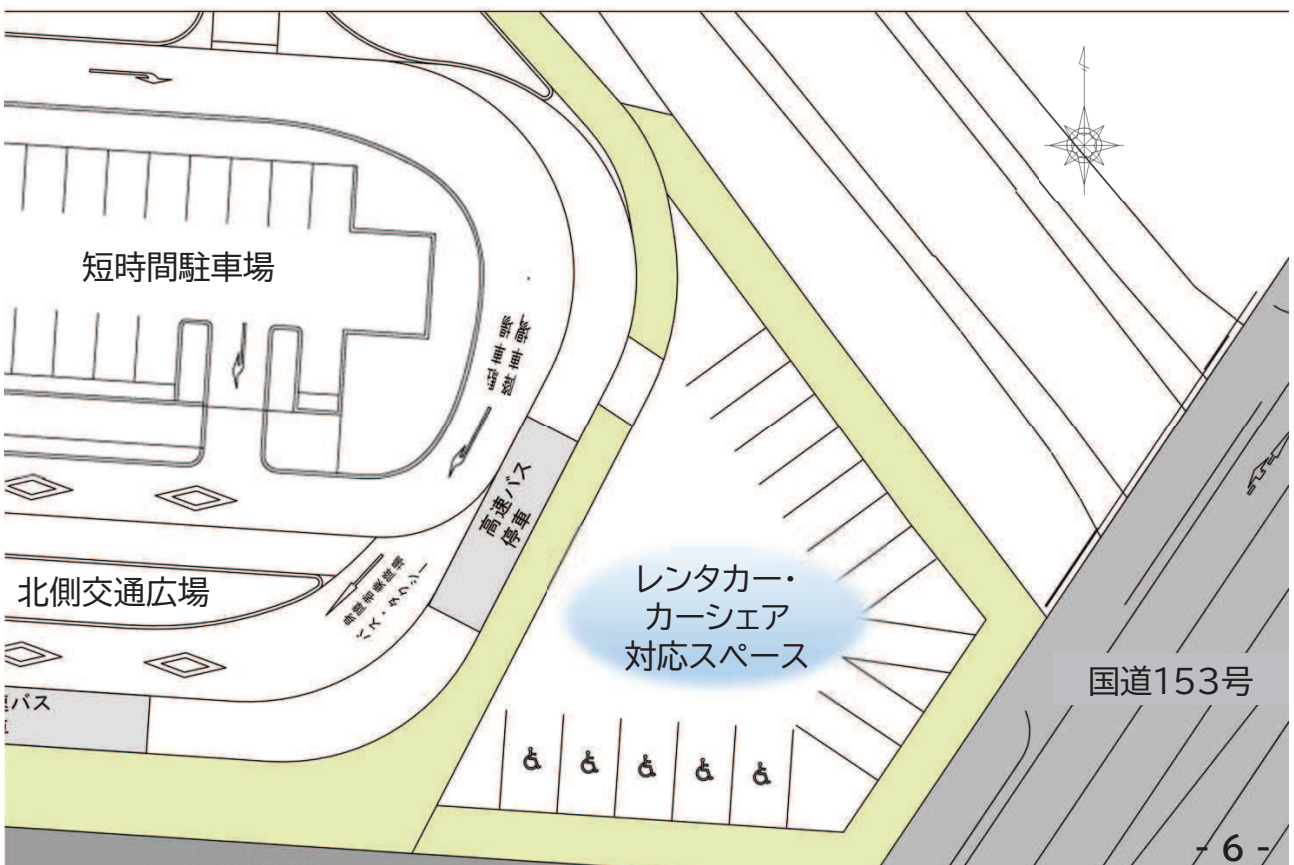
# リニア駅前空間の概要（3 平面図）



## II 交通広場エリア (① 北側交通広場)



## II 交通広場エリア (③ レンタカー・カーシェア等への対応)



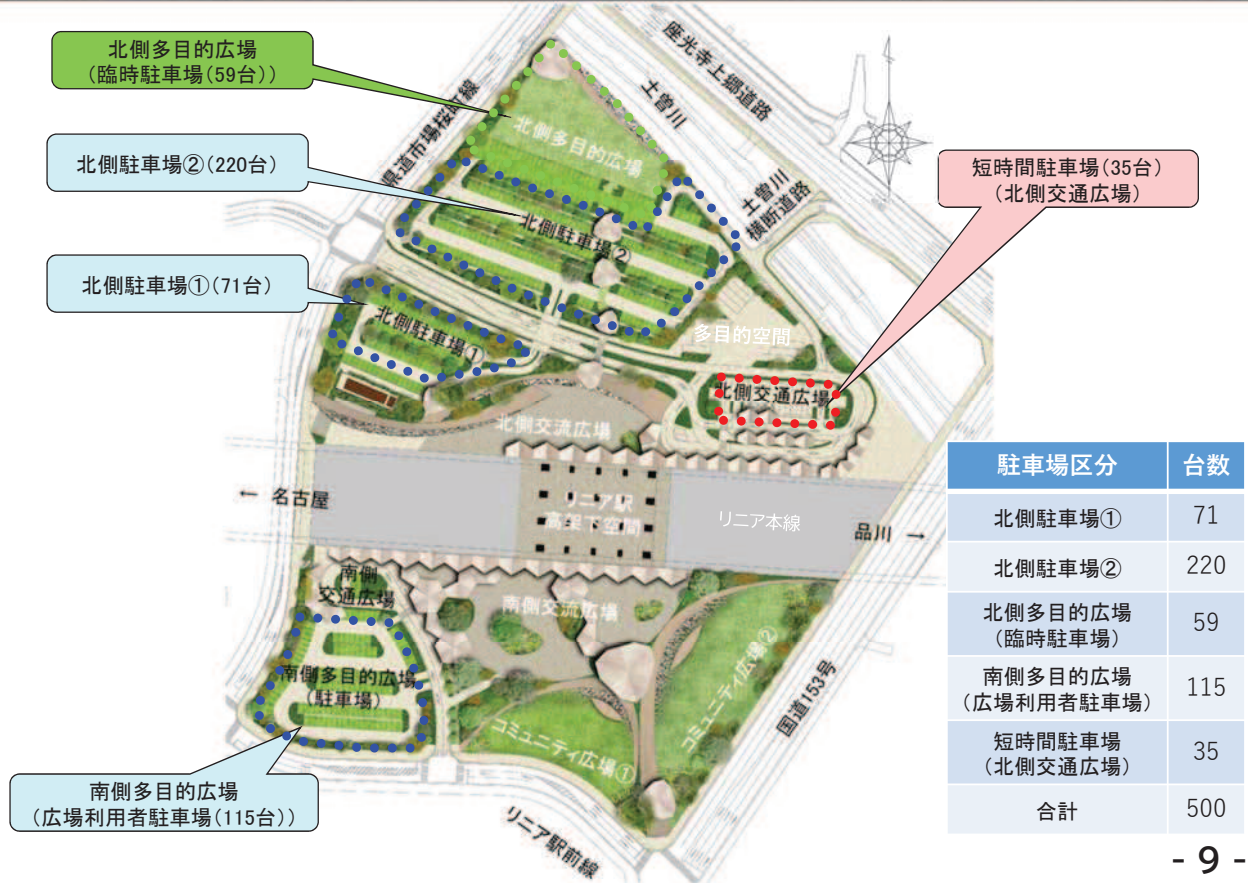
## II 交通広場エリア（④ EV等新たなモビリティへの対応）



## II 交通広場エリア（② 南側交通広場）

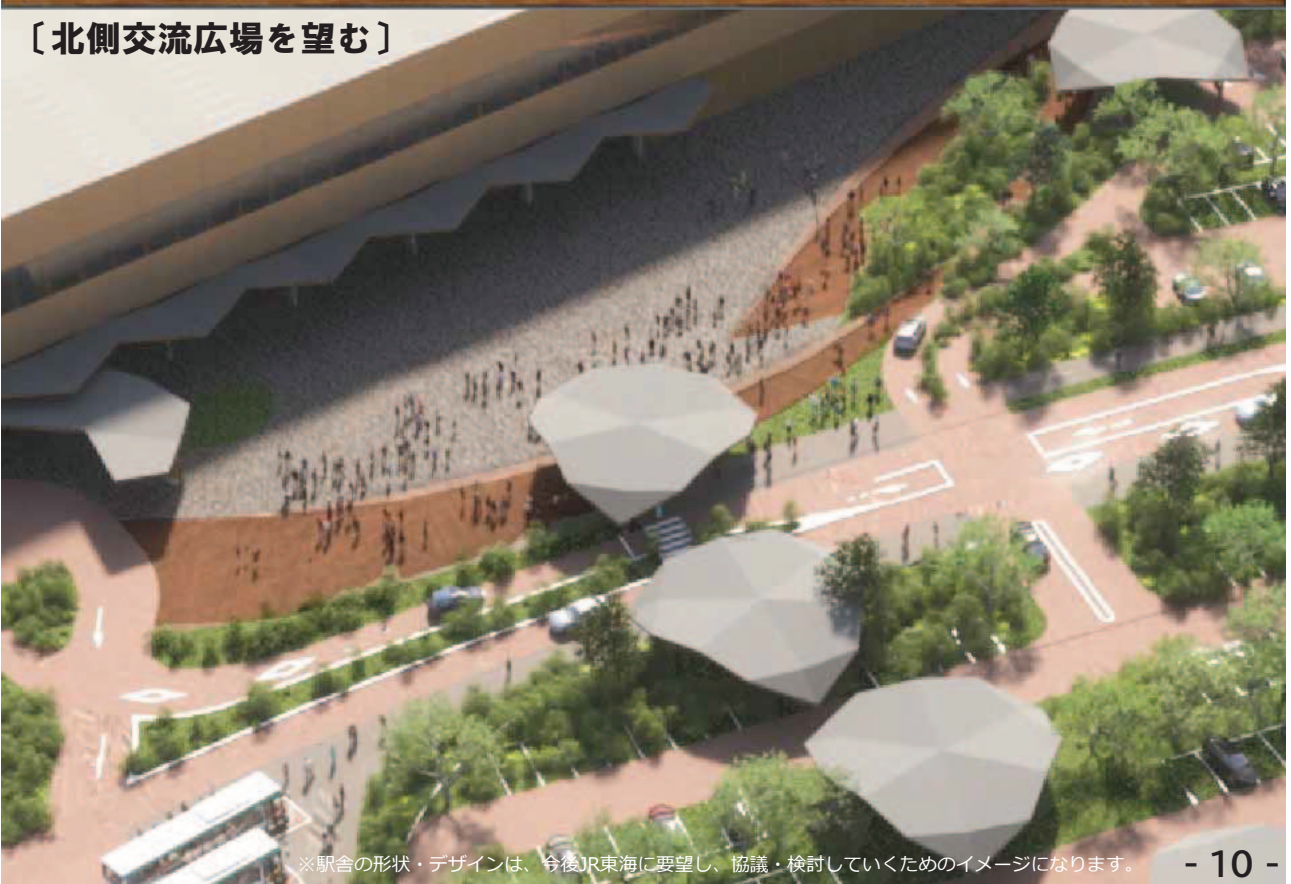


### Ⅲ 駐車場エリア（駐車台数）



### Ⅳ 交流広場・コミュニティ広場（1 北側交流広場）

〔北側交流広場を望む〕



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。

## IV 交流広場・コミュニティ広場（2 南側交流広場）

〔南側交流広場・コミュニティ広場を望む〕



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。 - 11 -

## V リニア駅前空間のイメージ（鳥瞰パース）

〔北から南を望む〕

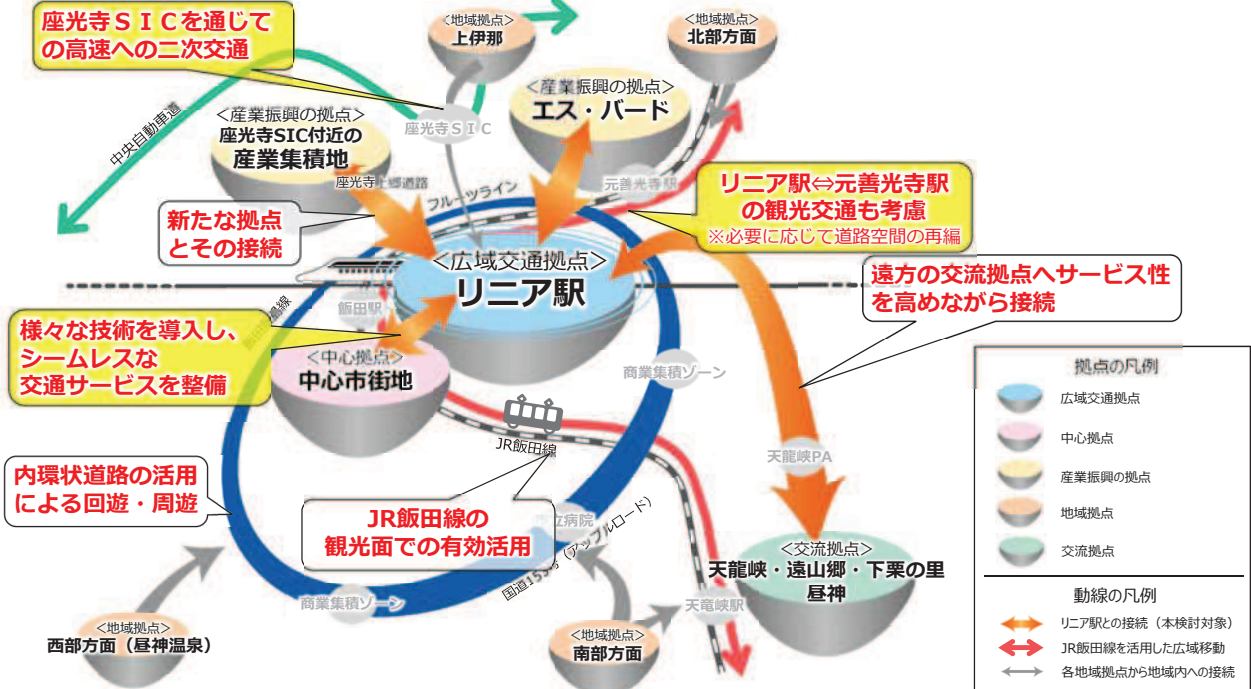


※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。 - 12 -

# J R 飯田線とリニア駅との接続方法

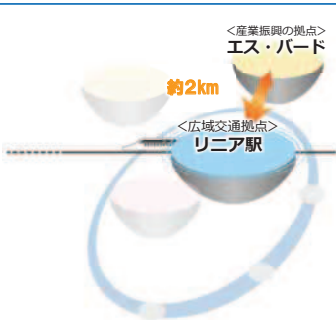
地域全体の交通環境改善を図ることができるよう、今後さらなる具体化を検討していく。

- ： 中心市街地をはじめ、各拠点とリニア駅との接続について、様々な技術を導入しつつ、高頻度・シームレスな交通サービスを整備を行う
- ： 地域の拠点や特徴をふまえた交通サービスを展開する



# J R 飯田線とリニア駅との接続方法

## ■リニア駅～エス・バード(元善光寺駅)



### 接続の考え方

- ・ 広域交通拠点 (リニア駅) と産業振興の拠点 (エス・バード) を接続
- ・ 広域交通拠点 (リニア駅) と元善光寺及び元善光寺駅との接続

### 想定される利用者

- ・ 通勤や商談目的等のビジネスマンが迅速に拠点間を移動
- ・ 飯田市民、周辺町村住民のリニア駅との往来経路
- ・ 経路途中に位置する元善光寺への観光利用

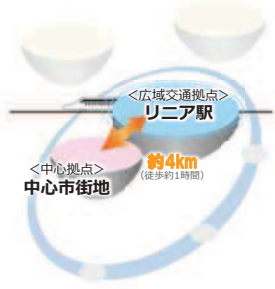
### 重要視する機能 (ビジネスと観光利用を両立する区間)

- シームレスな接続の確保
- 元善光寺等の観光拠点に立ち寄れる機動性

	ビジネス (直通)	ビジネス (立ち寄り)	観光
既存技術で想定される接続	<p>バス(有人)</p>	<p>タクシー</p>	<p>徒歩 レンタル・シェアサイクル 人力車</p>
将来技術で想定される接続	<p>小型自動運転バス</p> <p>[ 求められる機能 ] ・ 予約不要・速達性 ・ 長距離移動の手荷物を搭載可能な容量</p>	<p>超小型モビリティ (自動運転)</p> <p>[ 求められる機能 ] ・ 自由な目的地の設定 ・ ビジネスパーソン2~3人が乗車可能な容量</p>	<p>(搭乗型移動支援ロボット、原動機付歩行補助車)</p> <p>[ 求められる機能 ] ・ 街並みや景色が見え、移動自体を楽しめる ・ どこにでも停められ、気軽に観光ができる</p>

# J R 飯田線とリニア駅との接続方法

## ■ リニア駅～中心市街(飯田駅)



### 接続の考え方

- ・ 広域交通拠点（リニア駅）と中心拠点(飯田駅) を接続
- ・ **想定される利用者**
- ・ 飯田市民、周辺町村住民の **リニア駅との往来経路**
- ・ ビジネスマン等来訪者のリニア駅と中心市街地との往来
- ・ 飯田**市内の周遊**を兼ねた飯伊地域周辺への観光利用

### 重要視する機能（多目的に利用される重要区間）

- リニアのダイヤと併せた**短い運行間隔**
- シームレス**な接続の確保
- 市内の観光拠点に**立ち寄れる**機動性

住民のリニア駅アクセス

交通拠点間の移動

(参考) 市内の周遊

既存技術で想定される接続



バス(有人)



タクシー



レンタル・シェアサイクル

将来技術で想定される接続



小型自動運転バス

- [ 求められる機能 ]
- ・ 予約不要で市民が気軽に利用できる
  - ・ 長距離移動の手荷物を積載可能な容量



超小型モビリティ  
(自動運転)

- [ 求められる機能 ]
- ・ 自由な目的地の設定
  - ・ ビジネスパーソン2~3人が乗車可能な容量



(搭乗型移動支援ロボット、  
原動機付歩行補助車)

- [ 求められる機能 ]
- ・ 街並みや景色が見え、移動自体を楽しめる
  - ・ どこにでも停められ、気軽に観光ができる



# 1 リニア駅前広場における魅力発信の検討体系 イメージ図(案)

課題  
検討  
要素

**駅前広場の利活用**

- ・地域資源の発掘,活用
- ・飲食,物販の展開
- ・イベント開催
- ・事例研究

**情報発信・活用**

- ・観光,魅力情報の発信
- ・満足度の向上
- ・メタバース等DXの活用
- ・情報通信環境の整備

飯田市  
ブランドPJ

リニア駅前広場整備へ  
落とし込み

方針決定機関 (仮:推進会議)

**駅前広場活用検討会議 (全体会)**

事務局：飯田市(※県も参画)  
構成員：行政、民間等

- ① P J ,設計時の検討状況の共有
- ② 課題、方向性の協議(確認・合意)  
・求められる機能、サービスの方向性等
- ③ 情報共有、検討  
・地域の魅力や地域の観光資源活用、情報発信に向けた取組 (機能・サービス) 等
- ④ 必要に応じて設置する部会等 (⑤) の検討状況の共有

検討limit：R 7.9  
R 7 年度上半期までに  
魅力発信施設への設計  
反映を行いたいため

状況報告・確認

⑤ 全体会の進捗に応じて、必要であれば分野毎に部会を設置して検討

例 ○高架下空間・駅前広場活用 ○移住定住・二地域居住交流 ○観光・体験・インバウンド案内 ○各自治体内情報発信・活用等

伊那谷自治体会議

上伊那  
各市町村

地域間・事業者間のネットワーク, 連携した仕組みづくり

下伊那  
各市町村

長野県

飯田市  
(庁内連携)

地域展開 ←

リニア開業効果を地域振興に活かす

→ 広域展開

広域  
広域連合会議

# 2 リニア駅を基点とした交通関係の検討体系 イメージ図(案)

課題  
検討  
要素

## 交通体系

- ・方面別の移動
- ・各拠点との接続
- ・配車, デマンド, 駐車場
- ・観光, ビジネス対応

## 新たな交通システム

- ・MaaS, キャッシュレス化
- ・JR飯田線活用, 接続
- ・新たなモビリティの活用
- ・EV対応

飯田市

リニア駅前広場整備へ  
落とし込み

次世代  
PJ

方針決定機関 (仮: 推進会議)

## ① リニア駅アクセス検討会議 (全体会)

- ① P J, 設計時の検討状況の共有
- ② 課題、方向性の協議(確認・合意)
  - ・リニア駅アクセス検討の進め方等
- ③ 情報共有事項
  - ・交通体系の構築に向けた検討状況等
- ④ 各地域の検討状況 (B, C) の共有

事務局：飯田市(※県も参画)  
構成員：②～④から行政、民間等が参加

検討limit：R 7 末

R 7 年度末までに駅前  
交通広場の整備要素の  
確定を行いたいため

状況報告・確認

## ⑤ 開業に向けた交通体系の検討等

### ② 二次交通検討

上伊那、木曽、松本・長野方面、南信州内  
(交通担当課長会議など既存組織の活用による検討)

### ③ 三次交通検討

各市町村 ← 県 (地域振興局)、広域

伊那谷自治体会議

上伊那  
各市町村

下伊那  
各市町村

飯田市  
(庁内連携)

地域間・事業者間のネットワーク、連携した仕組みづくり

長野県

広域

地域展開

リニア開業効果を地域振興に活かす

広域展開

広域  
連合会議